

自立課題への道



冊子の作成と発行にあたって

発達障がい児者の保護者を対象に、障がいに特化した対応や支援について学ぶ機会を提供しつつ、保護者同士の交流・意見交換、先輩母による子育てに関する助言など、複合的な効果が期待できる子育て支援を目的とした事業の実現…かねてより当法人の念願でもあった「自立課題の講習会」を、2009年度に日本財団様の助成により実施することができました。

障がい児を育てながら、一人での勉強が辛い時、厳しい時、ついつい甘え心に負けそうな時もありますが、講師の下で、また先輩母の協力の下で、みんなで支えあいながら、実りある講習会を無事に終えることができました。

子どもの「評価」についての勉強会、自立課題の立案、作成、シュミレーション、手直し…専門職ではない「母親達」が、我が子のために真剣に学び、取り組んだ自立課題の制作過程、その使用目的・使用方法など、この事業で得た情報や知識を広く地域社会に還元していければ…との思いから、この冊子を発行することになりました。

ぜひ、皆様にご活用いただければ幸いです。

実施した事業内容について

テーマ 『自立課題の作成会』

開催日時

【前期第1回目】平成21年6月1日(月) 時間：10:30～1:30

【前期第2回目】平成21年7月6日(月) 時間：10:30～1:30

【前期第3回目】平成21年9月7日(月) 時間：10:30～1:30

【後期第1回目】平成21年11月30日(月) 時間：10:30～1:30

【後期第2回目】平成22年1月18日(月) 時間：10:30～1:30

【後期第3回目】平成22年2月22日(月) 時間：10:30～1:30

定員

前期 10名

後期 10名

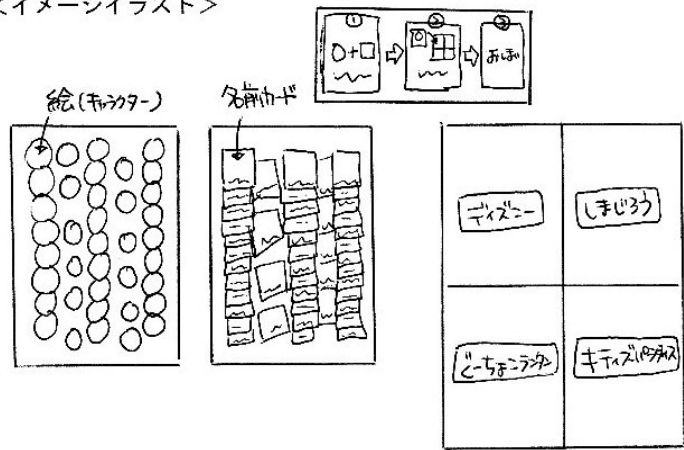
自立課題ワークシート

実施年月日： 21年 6月 1日

対象者名：N・Y	年齢：11歳	記入者名：母
<対象者の障がい、理解の状態など> 知的障害を伴う自閉症		


計画素案

<領域> マッチング + 分類
<狙い> 絵と名前を合わせてグループ分けができる
<使用方法> いつ：学校から帰宅して どこで：自分のテーブル どんなふうに：テーブルにスケジュールと課題を置いておく


<イメージイラスト> 	<材料> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙箱 ・ 厚紙 ・ コピー用紙 ・ マジックテープ ・ ラミネート紙 ・ 両面テープ
--	--

視覚的指示：スケジュール 絵と名前を合わせる グループの箱に入れる おしまい（図と文字で表す）
視覚的整理：・ 絵の箱 ・ 名前のカード ・ グループ分けした箱 （3つに分けておく）
視覚的明瞭化：・ カードに名前を入れる ・ グループ分けした箱にはグループ名を入れておく


シミュレーションによる結果

<講師からの助言など> スケジュールはなくてもわかるかもしれないので、最初はナシで。わからなければ、出してみてもどうか。	写真・イラスト 
<改良したほうがよい点など> 絵の箱、名前のカードの箱は、シートにマジックテープを貼り、カードが見てわかる様に、並べておいた方がよい。	

実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分> 絵の箱・名前の箱をマジックテープ付のシートにして、カードの裏面もマジックテープを貼り、固定できるようにした。</p> <p><本人の反応・様子> 好きなキャラクターを使ったので、量が多くてもイヤがらず集中して取り組めた。</p> <p><援助の有無・レベル></p>
<p>視覚的指示：</p>	
<p>視覚的整理：絵を並べたシート・名前カードを並べたシート・グループ分けした箱（3つに分けた）</p>	
<p>視覚的明瞭化：カードに名前を入れる・マジックテープでカードを固定してわかりやすくする・グループ分けした箱にグループ名を入れ、カードを入れても見えるようにナナメに厚紙を置いた</p>	
<p><反省点・今後の課題など> たくさんカードを作りすぎたので、一度にする量を決めてやる</p>	

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><視覚的指示></p> <p><視覚的整理></p> <p><視覚的明瞭化></p>
--	---

<p><感想・疑問点など> 自立課題を作るのは初めてでしたが、とても楽しかったです。子どもも気に入っていたので、この先も作っていきたいです。ワークシートを書くのが苦手ですが、がんばりたいです。</p>
<p><講師より> 自立課題作成の魅力にはまってもらえたようですね！これからの応用バージョンも見せて頂きたいところです！</p>

自立課題ワークシート

実施年月日： 21年 6月 1日

対象者名：M・K	年齢：10歳(5年生)	記入者名：母
<対象者の障がい、理解の状態など> 自閉症障害		

計画素案

<領域> マッチング、理解
<狙い> 物の値段のお金を用意していた袋に入れ、お買い物へ行く準備が自分でできるようになってほしい。
<使用方法> いつ：学校から帰って宿題が終わった後すぐ どこで：自分の机の上で どんなふうに：上から下へ、左から右へ


<イメージイラスト> 	<材料> 厚紙(台紙) 写真カード、ジップ付袋 おわりケース 現金、現金ケース
----------------	---

視覚的指示：写真カードと文字指示、お金は現物
視覚的整理：1つの厚紙(台紙)に1対1対応でセットする。どこへお金を入れるか、わかりやすく色紙を使う。できあがりケースを用意する。
視覚的明瞭化：お金を入れる所へ{お金をここへ入れる}と表記し、袋の部分に色紙を使いわかりやすくする。出来上がりケースに1つでき上がり見本をセットしておく。矢印。

シミュレーションによる結果

<講師からの助言など> できあがり見本をもっと見えやすくする。ジップロックにカードを入れる作業とお金を金額分袋に入れる作業、2つは多いのではないか。課題が1つにしぼり込んだ方が、良いのでは・・・。 <改良したほうがよい点など> {できあがり}という文字をもう少し上にして見えるようにする。できあがり見本を見えやすくするため、牛乳パックの切り口をもう少し大きくする。1度、カードをジップロックへ お金を入れる、でやってみて、それから今度は、カードをジップロックへ	写真・イラスト 初めからセットして、お金を入れるだけをしてもらう。
---	--------------------------------------

実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分> できあがりBOXを見えやすくした。 できあがりBOX、手順書、お金入れケースをテープで固定した。</p> <p><本人の反応・様子> 全くの声かけなしでは、やはりやり方が分からなかった。</p> <p><援助の有無・レベル> スタートの声かけで始められたが、手順書の説明不足と、その文だけの指示では、やり方が理解できていなかった。</p>
<p>視覚的指示：写真カードと文字指示</p>	
<p>視覚的整理：カード台紙の置き場所、お金の置き場所、できあがりBOXで、置き場所の整理。</p>	
<p>視覚的明瞭化：できあがり見本と、できあがりBOXを見えやすくする。</p>	
<p><反省点・今後の課題など>クリップから袋をはずすという手順書がぬけていた。やはり、カードをジップロックへ入れる作業は、少し難しそうだった。お金を金額分、手に持ったまま(置く所がなく)作業していたので、やりにくそうだったので、そこにも少し支援がある方が良かった。</p>	

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p>	<p><視覚的指示> 手順書による説明、台紙に番号を入れる。できあがりBOXにできあがり見本を入れておく。</p> <p><視覚的整理> 文字の指示を簡潔にわかりやすく整理。 手順を入れかえて、やりやすい方法へ変える。</p> <p><視覚的明瞭化> 袋 カード お金をジップロックに直接入れることへ変更。カードに色紙を使って文字指示をジップロックの袋の上に直接はることへ変える。</p>
------------------	--

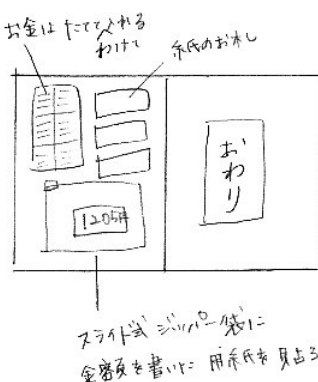
<p><感想・疑問点など> 文字でも文章指示は、読むわりには、意外と理解できていなかったと改めて発見。言葉かけでの指示をたよりにしていたんだなあーと反省しました。</p>
<p><講師より> 私自身もすごく勉強になった方でした！文字による指示は、よりシンプルにできれば、なくてもできる位が「自立」課題です！</p>

自立課題ワークシート


実施年月日： 21年 6月 1日

対象者名： T.U	年齢： 11歳(小5)	記入者名： 母
<対象者の障がい、理解の状態など> 知的障がいを伴う自閉症		

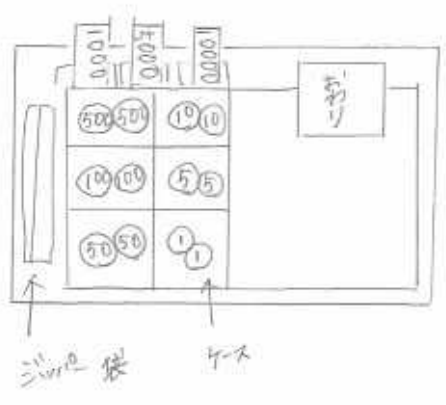
計画素案

<領域> お金	
<狙い> お金のマッチングをすることで、お金の種類や金額を理解する	
<使用方法> いつ： 土・日で本人が落ち着いている時 どこで： 本人の机で どんなふうに： 4つくらい	
<イメージイラスト> 	<材料> <ul style="list-style-type: none"> ・ 箱 ・ スライダー式ジッパー袋(中) ・ 子ども銀行の白黒コピー印刷のお金
視覚的指示：文字で指示書を作る	
視覚的整理：容器でお金をわける	
視覚的明瞭化：おわり箱の設置	

シミュレーションによる結果

<講師からの助言など> お金の扱いがしやすいようにラミネートする お金は、色つきの方が見てわかるのでよい おわりの紙を、わかるように立てて置く お金を種類ごとにわけて、多少がたつかせても大丈夫なように固定 おわりの箱におさまるように、袋の大きさをもう少し小さめにする	写真・イラスト 
<改良したほうがよい点など>	

実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分></p> <ul style="list-style-type: none"> スライダー式ジッパー袋を小にした お金をカラーの少し厚めの子供銀行のお金に変更した おわりの紙を立てておいた お金を種類ごとに容器に分けて入れ、お札も見やすいように立てておいた <p><本人の反応・様子></p> <p>見てすぐとりくむことができた。</p> <p>1分ほどでできた</p> <p><援助の有無・レベル></p> <p>特にしなかった</p>
--	--

<p>視覚的指示：</p>
<p>視覚的整理：お金をわける容器を深めのしっかりしたものにする</p>
<p>視覚的明瞭化：</p>
<p><反省点・今後の課題など></p> <p>1回目はお金の上に袋を横に立てておいたら、それをめくった状態でやったので、2回目は袋を左はしに立てておいたらやりやすかった様に思う。1万円は使い慣れないお札で、わかってなかったので、慣れているお金からやっていこうと思った。</p>

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p>	<p><視覚的指示></p>
	<p><視覚的整理></p>
	<p><視覚的明瞭化></p>

<p><感想・疑問点など></p> <p>実際子どもにやってもらったら、思わぬところで困ってしまう場面があったので、こういうところがひっかかるのか、とすごく発見だった。アドバイスしてもらったように現金で試してみたり、生活の中での応用にむけてやっていきたい。</p>
<p><講師より></p> <p>色々な応用編の教材が、まだまだ沸いてきそうな課題ですね。買い物 料理へと興味のある所に目を付けられたのもスゴイです！</p>

自立課題ワークシート

実施年月日： 21年 6月 1日

対象者名： ・F	年齢： 10歳(小5)	記入者名：母
<対象者の障がい、理解の状態など> 知的・自閉 重度		

計画素案

<領域> マッチング(スケジュールの言葉と動作の絵カードのマッチング)

<狙い>
スケジュールのことばと絵カードをマッチングさせる

<使用方法>
 いつ：朝起きて顔を洗い、パソコンをする前
 どこで：スケジュールエリアの所にテーブルを置いて
 どんなふうに：スケジュールエリアの横の棚においておく。課題が終わるとスケジュールエリアの棚に直して、デイリースケジュールの「おべんきょうカード」をおわりBOXに入れる。

<p><イメージイラスト></p> <p>スケジュールの言葉</p> <p>マジックテープでスケジュールの絵を貼っておく</p>	<p><材料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙 ・プラバン ・ラミネーター ・マジックテープ
--	--

視覚的指示：スケジュール(文字と絵)

視覚的整理：ひとつひとつの絵をマジックテープでプラバンに貼っておく。

視覚的明瞭化：絵のほうにも小さくことばを入れる。


シミュレーションによる結果

<講師からの助言など>	写真・イラスト
<改良したほうがよい点など>	

実践

	<p><改善した部分></p>
	<p><本人の反応・様子> 思っていたよりスムーズにいき、自立課題前後のスケジュールもスムーズにこなせた。</p>
	<p><援助の有無・レベル> 初めての日は、ビデオ撮りしながら私が言葉と指差しで援助。二日目から本人が私にアイコンタクトで確認するようになり、その後は一人でできるようになった。</p>
<p>視覚的指示：スケジュール</p>	
<p>視覚的整理：絵をマジックテープでプラバンに貼っておく</p>	
<p>視覚的明瞭化：絵のほうにも小さくことばを入れる</p>	
<p><反省点・今後の課題など></p>	

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p>	<p><視覚的指示> スケジュール</p>
	<p><視覚的整理> 絵をマジックテープでプラバンに貼っておく</p>
	<p><視覚的明瞭化> 絵のほうにも小さくことばを入れる</p>

<感想・疑問点など> スムーズにできたので、次は絵カードに小さく書いている文字を無しにしてみたいと思います。

<講師より>
生活に役立つ課題ですね！文字マッチングでOKだったら、行き先(スーパーマーケットなど)や、生活に必要なもの(スプーンなど)でも試してみてください。

自立課題ワークシート

実施年月日： 21年 6月 1日

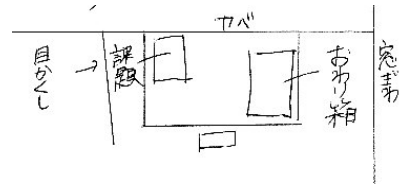
対象者名： H・H	年齢： 7歳（小2）	記入者名： 母
<対象者の障がい、理解の状態など> 知的重度、自閉症重度		

計画素案

<領域> 目と手の協応・微細運動

<狙い>
左から右へ、ビーズ（木製）を手に取りひもに通す

<使用方法>
いつ：休日のおやつ前
どこで：課題をするための机
どんなふうに：



<イメージイラスト> 	<材料> ・ビーズ（木製） ・ひも ・区分けしているトレイ ・ハサミ ・トレイ（ひもをテープで固定）
----------------	---

視覚的指示：左から右への矢印をつける。完成したものの写真をモデルとして提示。

視覚的整理：ビーズを1つずつ入れられる区分けしているトレイにする。

視覚的明瞭化：おわり箱に課題のトレイごと入れられるようにする。

シミュレーションによる結果

<講師からの助言など>



- ・情報量をもっとシンプルに
- ・ひものトレイは深く扱いにくいので、かごにひものみ直接固定しましょう。
- ・完成品のモデルより通し方の手元の写真が良いかも。

<改良したほうがよい点など>

- ・ビーズを通す手元を撮った写真を情報として加える？
- ・矢印でわかりますか？番号（順番）は付けなくても良い？
- ・または、あえて情報なし、最小限が良いかも・・・？


写真・イラスト

実践

<p>写真またはイラスト</p>   <p>区分けトレイを固定</p> <p>ひもを固定</p>	<p><改善した部分> 情報を最小限にした。 矢印、番号、完成図、手元の写真もなしに。</p> <p><本人の反応・様子> 課題に関してはスムーズに行った。 (作業 おわり箱に入れるまで)</p> <p><援助の有無・レベル> 作業に関してはありませんでした。</p>
--	--

<p>視覚的指示：矢印・完成品モデルは提示しなかった。</p>
<p>視覚的整理：ビーズを1つずつ入れられる区分けしているトレイを使用する。</p>
<p>視覚的明瞭化：トレイごとおわり箱に入れる。</p>
<p><反省点・今後の課題など> 本人はスムーズに作業を行いました。何回かで飽きてしまった様子が見られたので、ビーズの数や種類を変えようと思います。その場合は順番の番号付けが必要かと思います。</p>

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p>  	<p><視覚的指示> ビーズの数が増えたので、番号シールを付けた。</p> <p><視覚的整理> ビーズを1つずつ入れられる区分けしているトレイを使用。</p> <p><視覚的明瞭化> トレイごとおわり箱に入れる。</p>
--	---

<p><感想・疑問点など> 支援者側からの情報量が多すぎても少なすぎてもいけないと感じました。本人の「分かりやすい形」を知るために、認知理解と行動特性の評価をすることも大切と感じました。</p>
<p><講師より> 「分かりやすさ」では100点満点でしたね！自信もってできる課題をこれからも作ってあげてください！！</p>

自立課題ワークシート

実施年月日： 21年 6月 1日

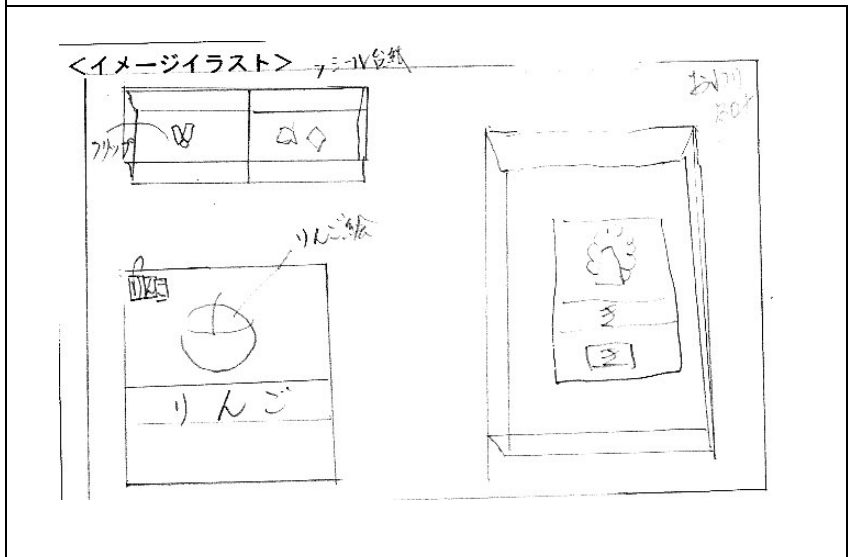
対象者名： Y.K	年齢： 14歳(中2)	記入者名： 母
<対象者の障がい、理解の状態など> 最重度知的障がいを伴う自閉症		

計画素案

<領域> 文字マッチング

<狙い>
ひらがな(絵つき)のマッチングができる

<使用方法>
いつ：夕食前
どこで：自立課題の机上
どんなふう：5ヶの課題の内の1つに入れる



<材料>

- ・ クリップ
- ・ パソコンシール
- ・ 箱

視覚的指示：おわり箱に実物見本を箱

視覚的整理：実物(クリップ・シール台紙)を1つずつ箱に分けて

視覚的明瞭化：実物を貼っておく・1つずつクリップでとめておく

シミュレーションによる結果

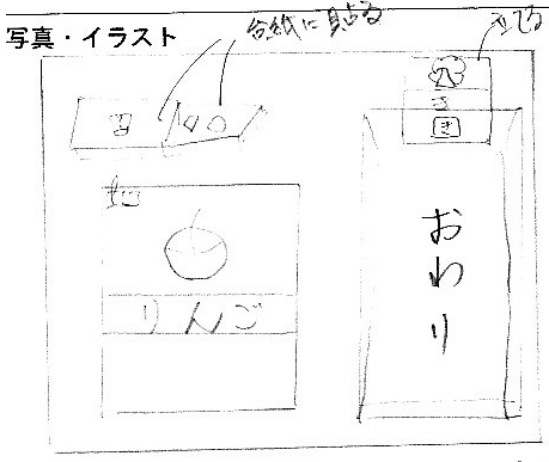
<講師からの助言など>

写真・イラスト

<改良したほうがよい点など>
クリップ・シール台紙入・おわりBOXを固定しては？おわりの見本をたてておくか、下に貼り付けるか、様子を見ながら



実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分></p> <p><本人の反応・様子> 根気よくやっていた。 おわり箱に終わった物を入れず、花丸と母に言ってきた</p> <p><援助の有無・レベル> 援助なし</p>
<p>視覚的指示：おわり箱に見本をたてて貼っておく</p>	
<p>視覚的整理：クリップ・シール台紙をそれぞれの箱に現物を入れておく</p>	
<p>視覚的明瞭化：実物をそれぞれの箱に入れておく。シールを貼る台紙にシールをクリップでとめておく</p>	
<p><反省点・今後の課題など> 完成品をおわり箱に入れられる様に改善</p>	

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p>	<p><視覚的指示> おわり箱に見本をたてて貼っておく</p> <p><視覚的整理> クリップ・シール台紙をそれぞれの箱に、 現物を入れておく</p> <p><視覚的明瞭化> シールを貼る台紙にシールをクリップでとめておく</p>
------------------	---

<p><感想・疑問点など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 失敗を重ねながら作っていくのが楽しかったです。 ・ 次回は生活に役立つものをつくってみたいと思います。
<p><講師より></p> <p>大好きな素材（シール）を使った、ということが成功のヒケツでしたね。 気持ちよく完成できる教材が、Yくんの興味に合っています。</p>

自立課題ワークシート

実施年月日： 21年 6月 1日

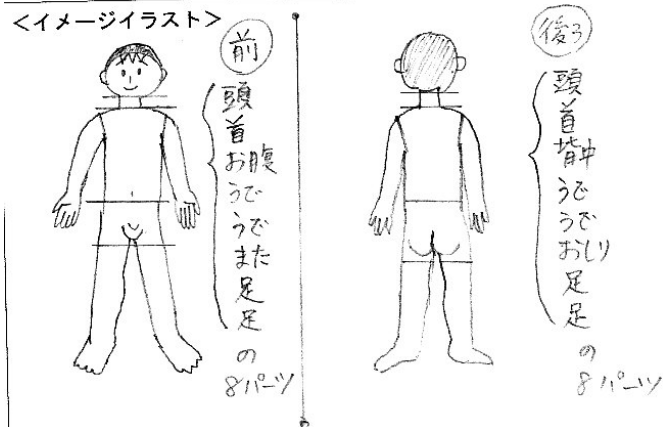
対象者名：S.Y	年齢：11歳(小6)	記入者名：母
<対象者の障がい、理解の状態など> 中度精神遅滞・自閉性障害		

計画素案

<領域> パズル(マグネット・パズル)

<狙い> 人の体は、色んな部位から構成されていることを意識づける。

<使用方法> いつ： 帰宅後 どこで： 課題エリア どんなふうに： 2段の棚を設置・パズルの順番「前」「後ろ」
--


<イメージイラスト> 	<材料> ・シール用紙(A4) 4枚 ・マグネットシート 3枚 ・A4のシールが貼れる ホワイトボード 2枚
--	--

視覚的指示：各パーツにひらがなで文字を入れる。ホワイトボードにも同じ絵を貼る。


視覚的整理：前と後ろの各パーツを別々の箱に入れて分ける。(「前のセット」と「後ろのセット」を2つのかごに分けて入れる)

視覚的明瞭化：腕や足など、2本ずつあるパーツには「 」とマークを入れる。貼り付ける側のパーツの文字・マークに色を付け、すでに貼れている部位を明瞭にする。

シミュレーションによる結果

<講師からの助言など> 特になし	写真・イラスト 
<改良したほうがよい点など> 課題自体に問題はなかったが、課題を行うエリアが狭く、課題棚の設置等に工夫が必要と思っている。(自宅)	

実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分> 課題自体は、特になし</p> <p><本人の反応・様子> 見てすぐに理解し、「うで」等、文字を読みながらはめていた。完成したら「出来た」と言っていた。</p> <p><援助の有無・レベル> 課題をトレイから出して、出来た物をそのまま右側の終了箱に入れると、最初に入れていた箱が机に残ってしまう。母がトレイを机の上から除いた。</p>
--	--

<p>視覚的指示：終了箱に「おしまい」と貼って、終わったらそこにを入れる事を指示。</p>
<p>視覚的整理：プラスチックトレイ（2段）に、「前」と「後ろ」を分けておいた。</p>
<p>視覚的明瞭化：</p>
<p><反省点・今後の課題など> 課題を完成させたあと、A4 サイズより大きな終了箱を置ける場所を確保しないと、机の上に課題を入れていた箱が残ってしまう。また、課題は上から下と理解しているので特に番号等は付けなかったが、課題が増えた時のために必要と思われる。</p>

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><視覚的指示> 変更なし</p> <p><視覚的整理> 変更なし</p> <p><視覚的明瞭化> 変更なし</p>
--	--

<p><感想・疑問点など> きちんと評価してから作ったので、ほぼ自立して課題をこなせた。「出来た！」と言葉が出たのが嬉しかった。今後、課題エリアの工夫が必要だと感じた。</p>
<p><講師より> 次の段階としては、自分の体の部位の理解とリンクしているか？評価してみましょう。難しいなら、本人の写真でパズルや部位の文字を貼ってもらう課題作りへ！</p>

自立課題ワークシート

実施年月日：H21.10.30～H22.2.22

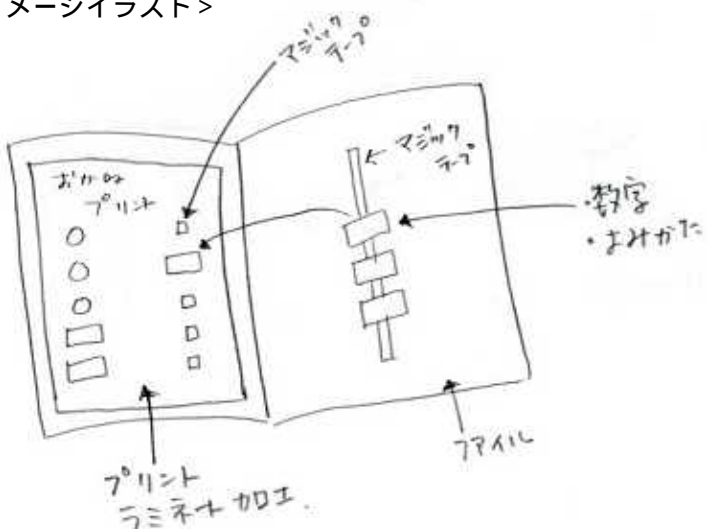
対象者名：H・T	年齢：16歳	記入者名：母
<対象者の障がい、理解の状態など> 中度の知的障害、自閉症。簡単な足し算、引き算はできるが掛け算は理解できない		

計画素案

<領域> お金の理解

<狙い> お金を理解し、お店での買い物に活用する。

<使用方法>
 いつ：出かけて、帰ってきたとき
 どこで：リビングのカウンターの上で
 どんなふうに：椅子に座って

<イメージイラスト> 	<材料> ファイル ラミネート マジックテープ お金のプリント 両面テープ
--	--

視覚的指示：スケジュール

視覚的整理：お金のプリントを使う

視覚的明瞭化：ファイルに貼った番号、プリントの文字による指示

シミュレーションによる結果

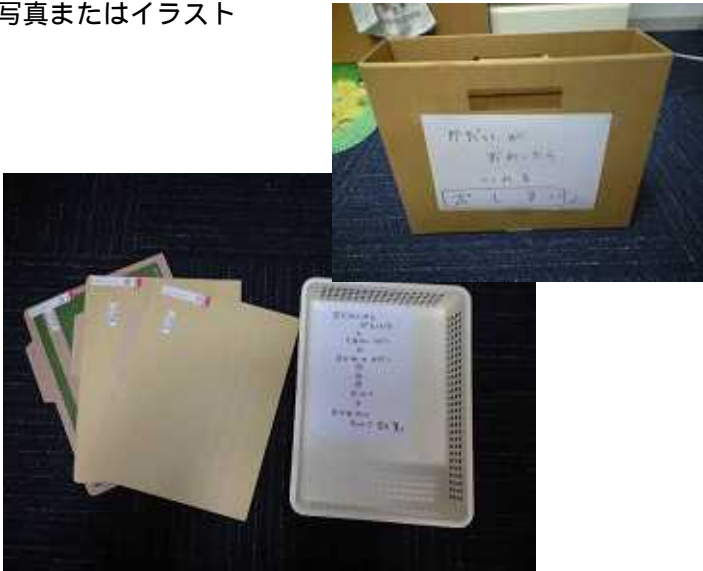
<講師からの助言など>
 課題の絵と答えの数字が初めから合っていたので、シャッフルしました。

<改良したほうがよい点など>

写真・イラスト



実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分> 、 、 とファイルに貼る 終わり箱の用意</p> <p><本人の反応・様子> 「なんでせなあなんの?」と言いながら、課題に取り組む。</p> <p><援助の有無・レベル> ファイルを眺めて次に進めず、「開けて」と声をかけた。 その他の援助はなし。</p>
<p>視覚的指示：スケジュール、プリントの文字</p>	
<p>視覚的整理：</p>	
<p>視覚的明瞭化：ファイルの番号、終わり箱</p>	
<p><反省点・今後の課題など> 「ファイルを開ける」がわからなかった。</p>	

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><視覚的指示> 「あける」を追加</p> <p><視覚的整理></p> <p><視覚的明瞭化></p>
--	--

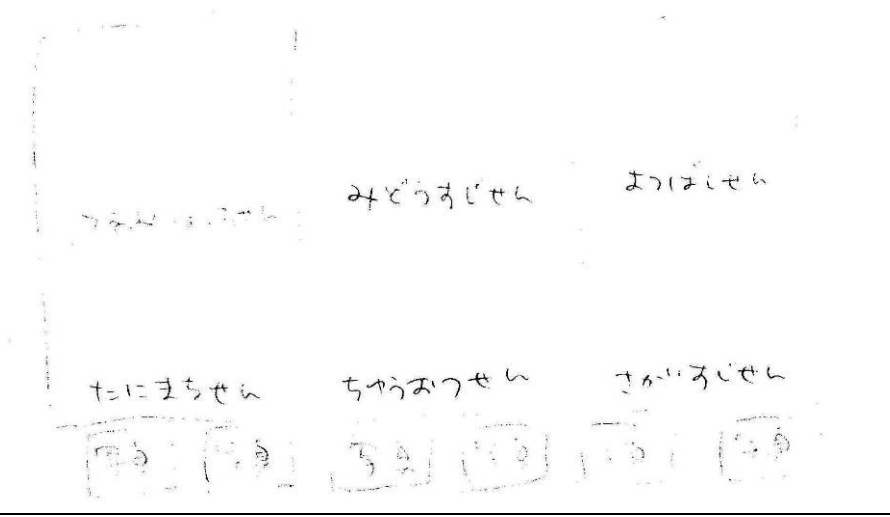
<p><感想・疑問点など> お店などで、自信を持ってお金を払うことができるようになるまで、金種と金額をプリントや自立課題で学習したい。学校でも取り組んでいる。</p>
<p><講師より> 当日、ワークシートをご持参頂いていなかったため、講師からのコメントはありません。</p>

自立課題ワークシート

実施年月日：H21.10.30～H22.2.22

対象者名：A.O	年齢：9歳	記入者名：母
<対象者の障がい、理解の状態など> 知的障がいを伴う 自閉性障がい		

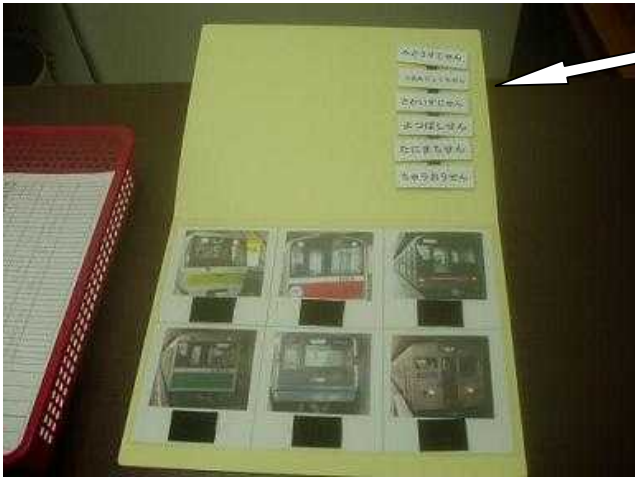
計画素案

<領域> マッチング(写真とひらがな)	
<狙い> 好きな地下鉄を利用して。	
<使用方法> いつ：土曜日の午前中 どこで：子どもの部屋 どんなふうに：横のBOXに入れておく	
<イメージイラスト> 	<材料> ・ 箱 ・ 写真 ・ ラミネート
視覚的指示：見て分かりやすいように	
視覚的整理：写真とひらがなをわけておく	
視覚的明瞭化：	

シミュレーションによる結果

<講師からの助言など>	写真・イラスト
<改良したほうがよい点など>	

実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分> 文字を上にもってきた</p>
	<p><本人の反応・様子> ふーん、という感じ。「早くお菓子食べたいな。」と言う。</p>
	<p><援助の有無・レベル> なし</p>
<p>視覚的指示：</p>	
<p>視覚的整理：</p>	
<p>視覚的明瞭化：</p>	
<p><反省点・今後の課題など></p>	

完成した課題

<p>写真またはイラスト 上記とおり</p>	<p><視覚的指示></p>
	<p><視覚的整理></p>
	<p><視覚的明瞭化> なし</p>

<p><感想・疑問点など> 楽しい期間でした。作ったり考えたりいい経験でした。</p>
<p><講師より>Aちゃんの大好きな地下鉄にさっとフォーカスを当てられたお母さん、さすが！と思いました。もっと高いレベルでも大丈夫そうですね。彼女のマイブームに合わせた素材の選択を続けていって下さい。</p>

自立課題ワークシート

実施年月日： 22 年 2月 22日

対象者名：H・O	年齢：11歳	記入者名：母
<対象者の障がい、理解の状態など>		

計画素案

<領域> キャップ、ふたの開け閉め

<狙い>
ペットボトルのキャップを開ける際、いつも自分では開けられない為。

<使用方法>
いつ：帰宅後
どこで：3F、姉の机（姉は利用していない為）
どんなふうに：

<p><イメージイラスト></p>	<p><材料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル ・キャップ ・ピン ・ふた
-------------------------	--

視覚的指示：1～順にふたを閉める、または、開ける。

視覚的整理：

視覚的明瞭化：


シミュレーションによる結果

<p><講師からの助言など> ふたを安定させる。 指示書（写真）を作る。</p>	<p>写真・イラスト</p>
<p><改良したほうがよい点など> 初めは3つから始める。 ふたを入れる入れ物もセットする。</p>	

実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分> 机の右に縦に教材を置き、自分の前に横に向けて始めることにしました。 指示書を作りました。</p> <p><本人の反応・様子> 「何これ？」という反応。 「早くさせて」というふうにくいついてました。</p> <p><援助の有無・レベル> 1回目は「ママと」と一緒に指示書を見てしました。2回目からは、自分でできました。</p>
<p>視覚的指示：写真と文字を確認していました。</p>	
<p>視覚的整理：はるものしましたが、バラバラにしても良かったのかな？と思いました。</p>	
<p>視覚的明瞭化：</p>	
<p><反省点・今後の課題など> 3つでは、すぐに終えてしまったので、5つに増やします。</p>	

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><視覚的指示> 写真を文字にしました。</p> <p><視覚的整理> 結局、初めからしていたものにしました。</p> <p><視覚的明瞭化></p>
--	---

<p><感想・疑問点など> すんなりできてしまい、やや簡単だったかな？とは思いましたが、自立課題は初めてなので「お勉強」を定着させるには、調度良かったのかな？と思います。自分でも「できた～」と満足気に毎回終われ、嫌がらず、あきずにできたことが何よりです。今後は「お金」の自立課題へ取り組みたいと思います。</p>
<p><講師より> 彼が獲得して便利になるスキルに注目された所が、とても良かったです！ 職業スキル、自立スキルに着目した、次の課題（お金！）も楽しみです。</p>

自立課題ワークシート

実施年月日： 22年 2月 22日

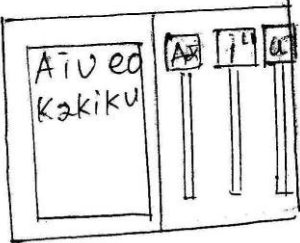
対象者名：Y・K	年齢：9歳	記入者名：母
<対象者の障がい、理解の状態など> 自閉症		

計画素案

<領域>

<狙い>
ローマ字に興味がある。マッチングで。いずれパソコン入力。

<使用方法>
いつ：
どこで：
どんなふうに：

<イメージイラスト> 	<材料> ・ファイル ・マジックテープ ・カード
--	-----------------------------------

視覚的指示：


視覚的整理：

視覚的明瞭化：

シミュレーションによる結果

<講師からの助言など>	写真・イラスト
<改良したほうがよい点など> マジックテープが固いので、嫌がるかも・・・	

実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分></p> <p><本人の反応・様子> めんどくさそう テープもバリバリっという</p> <p><援助の有無・レベル></p>
<p>視覚的指示：カードで、「勉強」「遊ぶ」を取り入れた</p>	
<p>視覚的整理：カゴと終わり箱の用意</p>	
<p>視覚的明瞭化：</p>	
<p><反省点・今後の課題など> 講造化されていないので、パターン化になりにくかった。指示を求める。</p>	

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p>	<p><視覚的指示></p> <p><視覚的整理></p> <p><視覚的明瞭化></p>
------------------	---

<p><感想・疑問点など> 援助を求めるのは、理解していない？</p>
<p><講師より> ローマ字表に興味をもっていただいたので、課題の選択は良かったです。 今後は飽きがこないように、色々な単語にも挑戦してみましょう！</p>

自立課題ワークシート

実施年月日：H21.10.30～H22.2.22

対象者名：S.O	年齢：8歳	記入者名：母
<対象者の障がい、理解の状態など> 自閉症・精神遅滞（共に重度）		

計画素案

<領域> マッチング（好きな食べ物・飲み物）	
<狙い> させられているのではなく、楽しんで課題に取り組む。	
<使用方法> いつ：毎日（体調の良い日） どこで：課題用の机 どんなふうに：	

学校のある日はおやつの後。
 休日は昼食後

<イメージイラスト>

1つのますに1つ好きなお菓子・食べ物・飲み物の写真と字を
 貝印、両端に白のマジックテープ

お菓子					
飲み物					
アイス					
カップ ラーメン					

マッチング用カード
 ラミネートをして裏に
 マジックテープ

<材料>



- ・ マジックテープ
- ・ 食べ物・飲み物のプリント
- ・ ラミネート

視覚的指示：なし
視覚的整理：同じ種類の食べ物を1つの入れ物に入れ、4つの入れ物に分ける
視覚的明瞭化：

シミュレーションによる結果

<講師からの助言など> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外れやすい場所（マジックテープの位置）がある ・ 4つの入れ物を置く位置 ・ 入れ物の強化 	写真・イラスト 4つの入れ物を 縦に1列に 2列に 2列に 2列に で強化 かごの中に全て4マスあり そのまま課題に取り組むようにした
<改良したほうがよい点など> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4つの入れ物を縦にしたらどうか・・・ （課題をカゴから出さずに出来るように） 	

実践

<p>写真またはイラスト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>表</p> <p>裏</p> </div>	<p><改善した部分> カゴの中で課題に取り組むと思ったが、出して取り組んだ。出しやすいように下に発砲スチロールのトレーを付けた。</p> <p><本人の反応・様子> 初めて見たとき、とても嬉しそうだった。1つ1つ指をさし、名前を言わされたが、次からは静かに取り組めた。</p> <p><援助の有無・レベル> 援助無し。易しい。</p>
<p>視覚的指示：なし</p>	
<p>視覚的整理：4つの入れ物を縦にしてカゴに収まるようにした。</p>	
<p>視覚的明瞭化：</p>	
<p><反省点・今後の課題など> 課題を逆に置き、逆のままカードをマッチングしていた（片付ける時は上下正しく終わり箱に入れる）</p>	

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p>	<p><視覚的指示></p>
	<p><視覚的整理></p>
	<p><視覚的明瞭化></p>

<p><感想・疑問点など></p>
<p><講師より> 嬉しそうに見てくれたとの報告で、これだけで自立課題の目的は達成できましたね！彼女のわかる時間＝自立課題を充実させていってあげて下さい！身辺自立にも応用したいですね。</p>

自立課題ワークシート

実施年月日：H21.10.30～H22.2.22

対象者名：A.S	年齢：5歳	記入者名：母
<対象者の障がい、理解の状態など> 自閉症（重度）		

計画素案

<領域> マッチング

<狙い>
好きな物で自立課題に結びつけたい。

<使用方法>
いつ：双子の弟 Y が落ち着いている時
どこで：和室に机とイスを用意して
どんなふうに：棚に課題の箱を入れて

<イメージイラスト>		<材料> <ul style="list-style-type: none"> ・ カゴ ・ 箱 ・ マジックテープ ・ プラダン ・ 厚紙
------------	--	---

視覚的指示：6枚のマッチングの内、1枚だけ貼っておく

視覚的整理：課題を棚に用意する

視覚的明瞭化：貼る方の厚紙に枠を書き、箱で高さをつける

シミュレーションによる結果

<講師からの助言など> 高さがあった方が作業がしやすい。 マッチングの取る方を2枚から1枚に。	写真・イラスト
<改良したほうがよい点など> 作業しやすい様にマッチングで取る方の板を1枚にし、硬く。	

実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分> マッチングの取る方の板をプラダンにし、2枚を1枚にしました。</p> <p><本人の反応・様子> 初めて机とイスを目にしたのですごく嬉しくて、すぐに座り、落ち着いていました。</p> <p><援助の有無・レベル> 課題を棚から出さなかったため、私が課題を机の上に置いた。</p>
--	---

<p>視覚的指示：無しでできました</p>
<p>視覚的整理：</p>
<p>視覚的明瞭化：</p>
<p><反省点・今後の課題など> 課題を棚から出さなかった。カゴの中でやってしまい、どうすればよいか今後の課題です。「おわり」のBOXも用意しようと思います。家の構造化が必要だと感じました。自立課題の後(ご褒美)も大事なので、スケジュールでわかるようにしたいです。</p>

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><視覚的指示></p> <p><視覚的整理></p> <p><視覚的明瞭化></p>
--	---

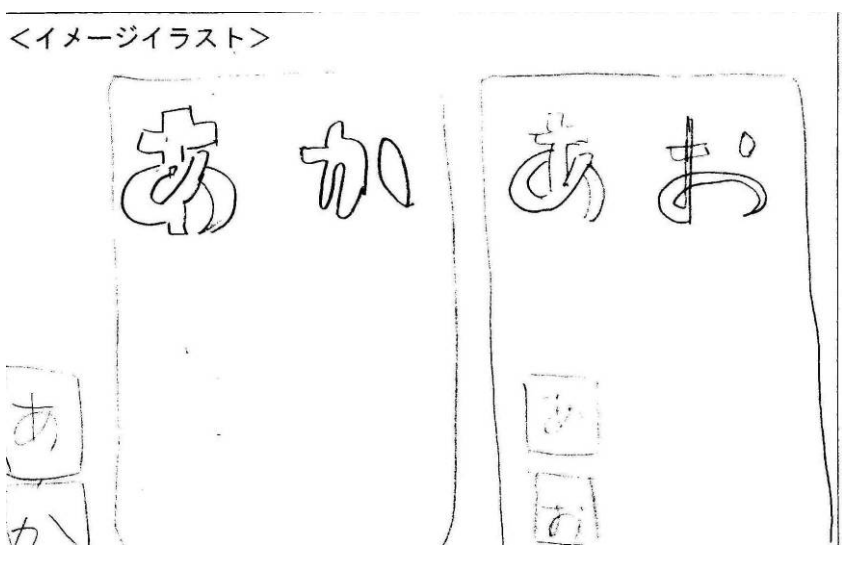
<p><感想・疑問点など> 興味がある物とマッチングが得意な事も有りすぐに出来たが、課題をやっている意識が本人にはあるのか？次回はカレンダー(スケジュール)で指示して、行きたいです。</p>
<p><講師より> 一定の場所で何かに取り組みただけで、5歳のAくんにとっては大成功です！1人で出来るのであれば既成の物(パズル等)でも充分です。双子ちゃん同時に自立課題のスケジュールで動かしてみましよう~</p>

自立課題ワークシート

実施年月日：H21.10.30～H22.2.22

対象者名：E・K	年齢：3歳	記入者名：母
<対象者の障がい、理解の状態など> B2.広汎性発達障がい		

計画素案

<領域> マッチング(ひらがな)	
<狙い> 課題を楽しみにできるように	
<使用方法> いつ：晩ご飯のあと どこで：子ども部屋の一角 どんなふうに：例>「あか」を赤で「あ」と「か」を用意する マグネット できあがり(別色のトレイ)	
<イメージイラスト> 	<材料> ・ マグネットボード ・ マグネットシート(赤・青)
視覚的指示：写真入り手順	
視覚的整理：	
視覚的明瞭化：	

シミュレーションによる結果

<講師からの助言など> ・ 1コずつ、区切りをつける ・ 文字の下のはみ出ている色をとりのぞく ・ 文字をおくスペースを書いて示す	写真・イラスト
<改良したほうがよい点など>	

実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分> 1コずつ区切った。</p>
<p><本人の反応・様子> 簡単すぎたか？他を改良する間もなく、ニコニコとやり始めた。</p>	
<p><援助の有無・レベル></p>	
<p>視覚的指示：</p>	
<p>視覚的整理：</p>	
<p>視覚的明瞭化：</p>	
<p><反省点・今後の課題など> もう少し、丁寧につくる</p>	

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p>	<p><視覚的指示></p>
	<p><視覚的整理></p>
	<p><視覚的明瞭化></p>

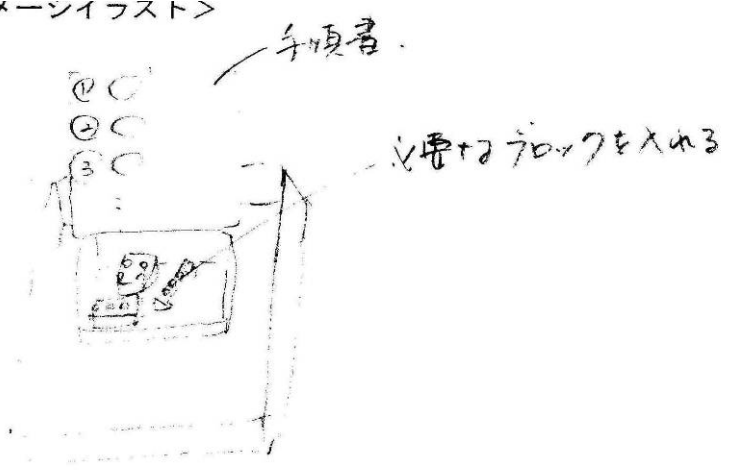
<p><感想・疑問点など> 6つくらい課題があってもOK。</p>
<p><講師より> 彼の強いスキル(色・ひらがな)であれば、もっと量を増やしても大丈夫だと思います。お勉強系だけでなく、身辺自立、作業課題にもチャレンジしてみてください！</p>

自立課題ワークシート


実施年月日： 22 年 2月 22日

対象者名： T・T	年齢： 10歳	記入者名： 母
<対象者の障害、理解の状態など> 知的障がいを伴う自閉症、 文字・数字・理解 、 一語、簡単な二語文理解		

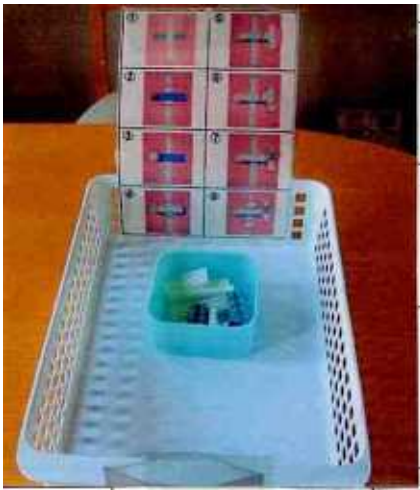
計画素案

<領域> ブロック組み立て	
<狙い> 余暇を広げる	
<使用方法> いつ：長期休みなど時間がたくさんある時 どこで：自立課題のスペース どんなふうに：スケジュールにする時を入れる	
<イメージイラスト> 	<材料> ・ブロック ・かご(ブロックを入れる) ・手順書
視覚的指示：手順書(ブロックの写真、数字)	
視覚的整理：かご	
視覚的明瞭化：手順の中の使うブロックを で示す	

シミュレーションによる結果

<講師からの助言など> ブロックを(取り出すか、取り出さないか)、どこで組み立てるか、観察がいる。	写真・イラスト 
<改良したほうがよい点など> 取り出さないで組み立てるなら、ブロックを入れておくかごを小さい物に変えて場所をあける。	

実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分> 取り出さないで組み立てることを想定して、かごを小さい物に変えた。</p> <p><本人の反応・様子> 手順書の に 印がふってなかったので、わかりにくかった。自分で何とか考えて完成させていた。</p> <p><援助の有無・レベル> 無。</p>
--	--

視覚的指示：手順書（ブロックを組み立てていく写真）番号。

視覚的整理：かご

視覚的明瞭化：手順書の中で組み立てるブロックの部分を で囲む。

<反省点・今後の課題など>

つけ忘れていた のところに をつけて、もう1度試してみる。

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p>	<p><視覚的指示> 手順書（ブロックの写真、数字）</p> <p><視覚的整理> かご</p> <p><視覚的明瞭化> 手順書の中の使うブロックを で囲む</p>
------------------	--

<感想・疑問点など>

<講師より>難しくても手順書を粘り強く見続ける、Tくんに感動しました。

これからも視覚支援、刺激の軽減をポイントに支援して行って下さい。

自立課題ワークシート

実施年月日： 22年 2 月 22 日

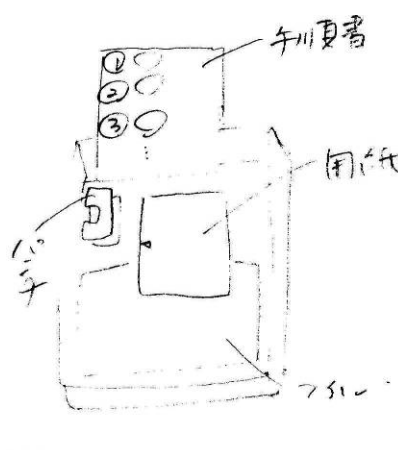
対象者 T・T(2)	年齢： 10歳	記入者名： 母
<対象者の障がい、理解の状態など> 知的障がいを伴う自閉症 文字・数字・色・形・一語文・簡単な二語文の理解		

計画素案・

<領域> 紙にパンチで穴をあけ、ファイルをする

<狙い>
 学校などで自分のプリントをファイルできる様

<使用方法>
 いつ：休みの日など、時間に余裕がある時
 どこで：自立課題のスペース
 どんなふうに：スケジュールに入れる

<イメージイラスト> 	<材料> ・穴あけパンチ ・色画用紙 ・ファイル ・手順書
--	---

視覚的指示：手順書（写真、文字）


視覚的整理：

視覚的明瞭化：パンチ用紙に の印。パンチを押すところにシール。用紙を持つところに印。

シミュレーションによる結果

<講師からの助言など> 手順のファイルの写真と実物が、少し違っているのが気になるかも・・・。 用紙の持つところの印は、いらなかも。	写真・イラスト
<改良したほうがよい点など> A4 サイズのファイルでは、かごに入らないかとも思い、B5 サイズの変えたが、手順の写真の物に戻す。	

実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分> 手順のファイルと同じファイルにする。 用紙の印を無しにする。</p> <p><本人の反応・様子> とても興味があった様で、何回も課題を見ていた。</p> <p><援助の有無・レベル> 無</p>
<p>視覚的指示：手順書</p>	
<p>視覚的整理：</p>	
<p>視覚的明瞭化：パンチと用紙の合わせる点に の印</p>	
<p><反省点・今後の課題など>紙を逆の面に止めていたので、置く面に目印が必要。スキルのには全然問題なく、あっという間にできたが、ファイルの止め金をはずしてから穴をあけていたので、手順書の順番を変えた方がいいかもしれません。</p>	

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><視覚的指示> 手順書（写真、文字）</p> <p><視覚的整理></p> <p><視覚的明瞭化> パンチと用紙を合わせるところに の印。 ファイルの上下がわかる様に とうえの文字。</p>
--	--

<p><感想・疑問点など></p>
<p><講師より>経験あるファイリングだったので記憶に頼ってしまいましたね。やったことのある課題は、課題分析から入らないといけないんだ・・・と私自身も学ばせて頂いた課題でした・・・。</p>

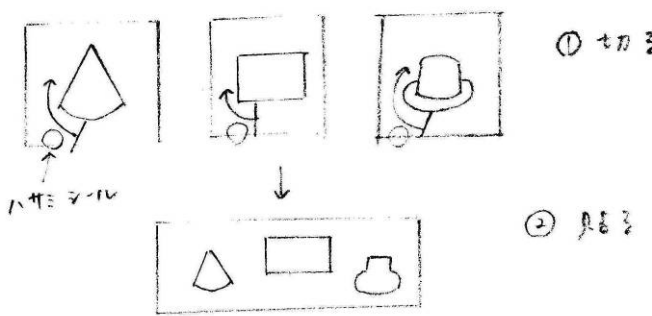
立課題ワークシート

実施年月日： 22 年 2 月 22 日

対象者名：T・N	年齢：8歳	記入者名：母
<対象者の障がい、理解の状態など> 知的に伴う自閉症		


計画素案

<領域>ハサミで切る のりで貼る
<狙い>・できるだけ形通りに切る ・形のマッチング
<使用方法> いつ： 下校 おやつの後 どこで： 自分の机の上で どんなふうに： 机の上に課題を置いておく

<イメージイラスト> 	<材料> ・のり ・ハサミ ・台紙 ・「切る」絵をプリントしたもの
--	---

視覚的指示：「切る」は、イラストの周りを黒の実線で示す。「ハサミ」シールの添付。
視覚的整理：ハサミ、のりの位置を示す。
視覚的明瞭化：「切る」方には「絵」が、「貼る」方には「黒枠」のみ。


シミュレーションによる結果

<講師からの助言など> 切り口（スタート）の場所を明確にわかるように示す。	写真・イラスト 
<改良したほうがよい点など> 「切る」と「貼る」の箱を分けた方が良いのではないかと。	

実践

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><改善した部分> 「おわり」箱、切った後のものを入れるゴミ箱を用意。</p> <p><本人の反応・様子> 「どうぞ」の声かけがあれば、完結できる。</p> <p><援助の有無・レベル> 「どうぞ」の声かけが必要。</p>
<p>視覚的指示：「切る」は、スタート時に、斜め黒実線と「ハサミ」シール添付。</p>	
<p>視覚的整理：「のり」「ハサミ」の位置指定。「おわり」箱、ゴミ箱。</p>	
<p>視覚的明瞭化：「切る」の周囲を黒の実線で示す。「貼る」方は、「黒枠」のみ。</p>	
<p><反省点・今後の課題など> 「切り始め」の斜め実線は、かえって迷ってしまうので省く。 ハサミの位置も家と一緒に、のりとセットで置く。</p>	

完成した課題

<p>写真またはイラスト</p> 	<p><視覚的指示> 「切る」スタート時は、斜め黒実線と「ハサミ」シールで表示。</p> <p><視覚的整理> 「のり」「ハサミ」の位置を設定。 「おわり」箱、ゴミ箱。</p> <p><視覚的明瞭化> 「切る」の周囲を黒の実線で示す。 「スタート」の場所に「ハサミの絵」シール添付。</p>
--	---

<感想・疑問点など>

「切る」絵の大きさ、形を決めるのに意外と時間がかかりました。

<講師より>

時間をかけられただけあって、選ばれたイラストの大きさは、彼にぴったりのものでしたね。これからスキルもあがってこられますので、彼にぴったりフィットする素材をまた選んであげてください！

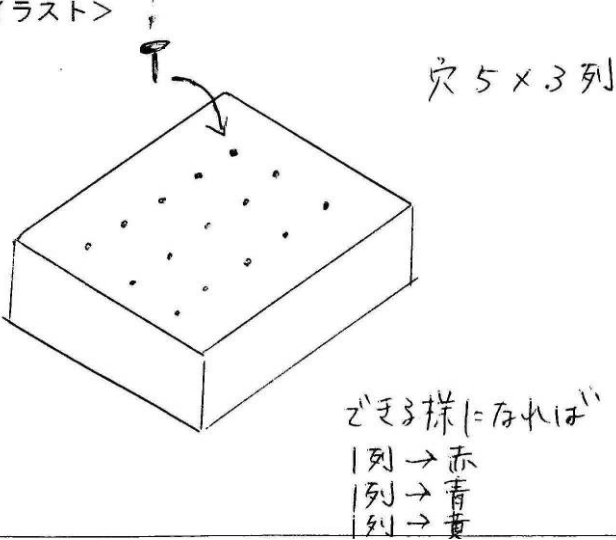
自立課題ワークシート

実施年月日：H21.10.30～H22.2.22

対象者名：Y.T	年齢：5歳	記入者名：母
<対象者の障がい、理解の状態など> 療育手帳A 自閉症		

計画素案

<領域> 合格のものから、本人が好きな事で、学校でやっていない様なもの
<狙い> 一人のできる事
<使用方法> いつ：夕食後、寝るまでの余暇（PC）の前 どこで：リビングの一角（できるだけ視覚が混乱しない所で） どんなふうに：イスより地に座ってが好きなので、机で座って

<イメージイラスト> 	<材料> ・ 箱 ・ 画用紙 ・ マジックインキ ・ ゴルフピン
--	--

視覚的指示：実物提示
視覚的整理：カゴ、番号
視覚的明瞭化：左から右へ

シミュレーションによる結果

<講師からの助言など>	写真・イラスト
<改良したほうがよい点など> 穴の個数が多すぎた？のと、3色は混乱（嫌）だった様子。 個数・色を減らす。	

実践

写真またはイラスト



<改善した部分>

- ・ 穴の数を減らす(3列 2列)
(赤青黄 赤青)
(1列5こ 4こ)

<本人の反応・様子>

課題・机・マット等を用意しはじめると近づき待ち、すぐ自分から何も言わなくても始めた

<援助の有無・レベル>

カゴのみテーブルに置いた

視覚的指示：最初は写真で提示を考えていたが、簡単なのでわかる様だったので今回は無し(指で色、声かけ)

視覚的整理：小物を小さなカゴ(入れ物)に分けた。左 右へ。最後に「おわり」のダンボールへ。マットを敷いて他との境を「ここは勉強ゾーン」とした。

視覚的明瞭化：マーカーで大きめに色をぬった。線を引いた。

<反省点・今後の課題など>

今後はどんどん難しくなり、単純作業(1動作)ではなくなってくるので、写真で順番・やり方を提示していく。バランスよく色々な課題を時間も延ばしていく。

完成した課題

写真またはイラスト



<視覚的指示>

- ・ 最初の課題を置き、声かけ

<視覚的整理>

- ・ ピンと箱に分けた

<視覚的明瞭化>

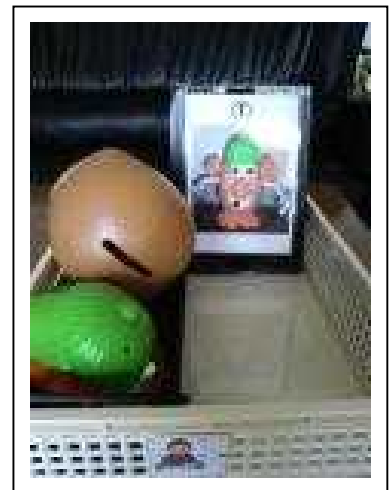
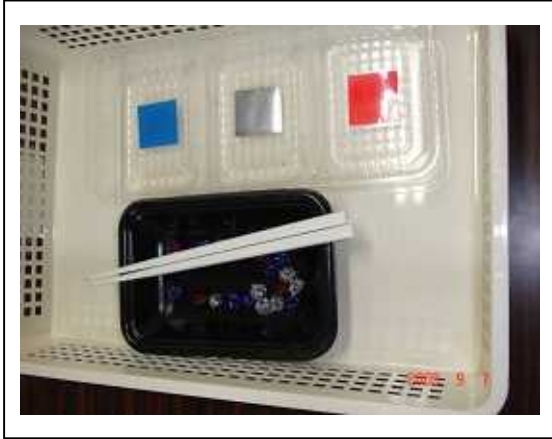
- ・ 刺す場所のみ色分けした

<感想・疑問点など>いつも一緒にやる課題の時の様に、私に手伝いの要求や気が散ったりするのではないかと思いましたが、黙々としてくれました。2回目欠席のため以前から使っていたカゴでしたのですねんりできたのかも……。正規のカゴや、課題が苦手なマッチング等に鳴った時、色々対応が変わってくると思います。

<講師より>

彼の強いスキル、プットインやベグさしから次をどう展開していくのか?が楽しみです。写真や色など今めばえてきているスキルを組み合わせ試してみてください!

もこんな自立課題ができました



參考資料

自立課題学習・作成会タイムスケジュール

【前期第1回目】平成21年6月1日(月)

【後期第1回目】平成21年11月30日(月)

10:30～12:15(105分)	自立課題の説明 評価についての講義(PEP-R、の結果を持参)
12:15～13:00(45分)	～昼食～
13:00～13:30(30分)	自立課題製作のための設計図の作成(ワークシートに記入)

自立課題の大きさ、高さをカゴの範囲内で師定する。

(実際にカゴを見せ、大きさを伝える。カゴの配布は2回目に行く。)

次回の製作会の説明。 課題制作のための材料、機具は個々持参してもらう旨を伝える。

(ワークシート内に材料を記入する欄がある)

昼食は来所時にメニューを選択してもらい、運営が一括購入しておく。

【前期第2回目】平成21年7月6日(月)

【後期第2回目】平成22年1月18日(月)

10:30～12:00(90分)	受講者の材料持込による自立課題の製作
12:00～12:45(45分)	～昼食～
12:45～13:30(30分)	作成した課題を使ってシミュレーション

シミュレーションから、再検討が必要な場合、手直ししてもらう。 宿題

自宅に持ち帰り、自分の子どもで使用。 報告書へ記入(宿題)

(見本として、運営スタッフのものを用意する)項目:領域・イラスト・本人の行動・援助のレベル

次回(第3回目)の説明。 宿題の報告会。違う領域の課題作成。

(製作に必要な材料・機具を持参してもらう旨を伝える)

【前期第3回目】平成21年9月7日(月)

【後期第3回目】平成22年2月22日(月)

10:30～12:15(105分)	宿題の報告 自立課題の製作(前回とは違う領域のもの)
12:00～12:45(45分)	～昼食～
13:00～13:30(30分)	質疑応答

自立課題ワークシート

実施年月日： 年 月 日

対象者名：	年齢：	記入者名：
<対象者の障がい、理解の状態など>		

計画素案

<領域>	
<狙い>	
<使用方法> いつ： どこで： どんなふうに：	
<イメージイラスト>	<材料>
見本	
視覚的指示：	
視覚的整理：	
視覚的明瞭化：	

シミュレーションによる結果

<講師からの助言など>	写真・イラスト
<改良したほうがよい点など>	

実践

写真またはイラスト	< 改善した部分 >
	< 本人の反応・様子 >
	< 援助の有無・レベル >

視覚的指示：
視覚的整理：
視覚的明瞭化：
< 反省点・今後の課題など >

見本

完成した課題

写真またはイラスト	< 視覚的指示 >
	< 視覚的整理 >
	< 視覚的明瞭化 >

< 感想・疑問点など >
< 講師より >

認知理解と行動特性の評価シート

評価の為の実施手順

児童名:

記入者名:

(学校名:

×年齢:

歳)(学年:

年) (記入日:

年 月 日)

認知理解レベル	○△×	備考	実施の例
物の用途の理解			コップ・歯ブラシ・靴下・はさみ・くし・鉛筆の用途が分かるかどうか 何でも口に入れてしまう→×か△-
形の弁別型(おめず)			○△口などの型おめずができる・年齢レベルの型おめずかどうか
色マッチング			赤・青・黄色・緑・白の色柄と同じ色の積木をマッチングすることができるかどうか ひらがなが書かれているシートに同じひらがなの文字をマッチングできるかどうか
文字マッチング			絵が描かれているカード(色無し)に、同じ絵カードをマッチングできるかどうか
絵と絵のマッチング			絵が書かれているカード(色無し)に、具材物をマッチングできるか(コップ・歯ブラシ・靴下・はさみ・くし・鉛筆)
絵と具(具体物のマッチング)			時計・いす・水筒を指差して、指差された方を見るか 声かけをせずに、「ちようだい」のポーズだけで手に持っているものを選択してくれるかどうか。パイパイのポーズを理解するかどうか
指差しを理解する			コップ・歯ブラシ・靴下・はさみ・くし・鉛筆の絵カードや写真・人物の写真を並べて、「コップ」と言われてコップのカードを手渡すことが出来るかどうか 人物の足先を言われて人物の写真を手渡すことが出来るかどうか 寝る・手を洗う・お風呂に入る・ゴキブリに乗る・お料理をするなどの動作のカードを並べて「ねる」「あろう」などのことばと一致する絵カードを選べるかどうか
簡単な身振り(ちようだい、パイパイ、おいで、など)を理解する			ジェスチャーや指差ししないで、「すわって」「おいで」「ちようだい」などのことばの指示に従うことが出来るかどうか
動作・活動を表した絵・写真から意味を読み取る			箱・ぬいぐるみの犬・椅子を用意して「箱をたいて下さい」「犬をなで下さい」と指示して指示通りにできるかどうか コップ・積木を用意して「コップに積木を一つ入れて、そのコップを床(もしくはおじょうたん)の上に置いて下さい」と指示して指示通りに出来るかどうか
簡単な言語指示に従う(単語レベルの理解)			名詞の書かれた単語カード(ぬいぐるみ・靴下・はさみ・くし・鉛筆)を選んで「おめず」が出来るかどうか 「まさおくんは犬と遊びました」という文章を読んで、「まさおくんは何と遊びましたか?」と質問して絵カードかことばで答えることが出来るかどうか
言語指示に従う(簡単な文章レベルの理解)			ボール・箱を用意して、「まさおくんボールを箱に入れました」という文章を読ませ、「同じようにして下さい」と指示して出来るかどうか
2〜3段階の言語指示に従う			学習のエリアに遊びの場所のおもちゃをちぎってしまわないか、またはその反対
書かれた単語を読んで理解する			具材物・写真や絵・文字のスケジュールを見て、自立して動いているか、混乱しないか
書かれた指示(2〜3語文)を理解する			アナログ時計を見て、「何時になったら終わり」「何時から始めます」を理解できているか
書かれた指示(より複雑な文章)を理解する			デジタル時計を見て、「何時になったら終わり」「何時から始めます」を理解できているか
学習エリア・休憩や遊びのエリアの理解			
スケジュールを読みとる			
時計(アナログ)を読む			
時計(デジタル)を読む			

本

評価基準:○=完全にできる △=部分的にできたり、実演があればできる ×実演を繰り返しても全くできない

認知解レベル	○△×	備考	実施の例
課題の終了を理解する			一つの課題が終わったことを理解しているか。終わった後にもまた繰り返して課題で遊ばないか。
「まず～、それから～」という2つの事柄の順序性の理解			「この勉強が出来たら遊びや「一つづつ」でできたならラムネがもらえる」などを理解できるか
上から下への順序性を理解する			スケジュールや課題を上から下へ順番にこなしていくことが出来るかどうか
左から右への順序性を理解する			スケジュールや課題を左から右へ順番にこなしていくことが出来るかどうか
順序数(1番目、2番目～)を理解する			スケジュールや課題に番号をつけて、番号順にこなしていくことが出来るかどうか。順番を飛ばした課題をしようしないか。
評価基準:○=完全にできる △=部分的にできたり、実演ができればできる ×実演を繰り返しても全くできない			

行動特性	適正、中度、重度	実施の例
視覚刺激に対する反応性(過敏・鈍感)		物をクルクル回したり順番に並べたりしないか。検査道具以外の人・物・景色などに見入ったり、逆に見るのを避けたりしないか
聴覚刺激に対する過敏さ(過敏・鈍感)		物で音を鳴らして聞き入ったりしないか。他から聞こえてくる音に過剰に反応したり逆に声かけに全く反応しないなどアパランスさはないか。
触覚刺激に対する興味(過敏・鈍感)		物(粘土・クレヨンなど)を触るのを避けたりしないか。逆に触ったりなでたりするのを止めるのが困難かどうか。また、身体接触など嫌がりたくないかどうか。
味・においへの興味(過敏・鈍感)		物を口に入れたり、臭いをかいたりしないかどうか。極端な偏食がないかどうか。
新しい環境や環境の変化に対する反応		新しい状況に不安反応を示すかどうか。探索をしすぎたり、落ち着かない態度が観察されるかどうか。
用具や課題(作業)材料に対する反応		物を用意以外の使用をしないか。口に入れたり転がしたり並べたり、投げたりしないかどうか。
新しい課題(作業)が与えられた時の行動		学習の課題が終わるときにスムーズに終わることが出来るかどうか、また新しい課題をスムーズに始める事ができるかどうか
注意の集中時間		注意の集中時間が同年齢の子どもと比べてどうか。好きな課題だけでなく好きな課題での反応もみる課題の終了時に困難を示すかどうか。また好きな活動(お絵かきや水遊びなど)の途中で「おしまい」と伝えるとスムーズに終われるかどうか
中期に対する耐性		ごまごまの活動やおやつなどが示されて、それを目指して課題を頑張ることが出来るかどうか。
ごまごまに動機づけられるか		先生や親に褒められることに動機づけられて、課題を達成することが出来るかどうか
ほめられる事に動機づけられるか		分かる、できる、という自発的な動機付けで課題を達成できるかどうか
達成すること自体的動機づけ)に動機づけられるか		

適切:年齢相応の行動を示す場合 中度:その行動がわずかながら異常な場合 重度:その行動の強さ・質・現れ方に明らかな特異性が認められる場合



特定非営利活動法人チャイルズ

U R L <http://www.webchilds.com/>

住所 〒552-0003 大阪府大阪市港区磯路2丁目12-1号棟-118号室

電話番号 / F A X 番号 06-4977-5131

助成事業実施期間：2009年4月～2010年3月

冊子作成：2010年6月

この冊子は、競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて作成しました